

陸軍

別紙第三

三飛集作命甲第十九號ニ據ル第二梯團ニ引續キ上陸スル部隊ノ
作戰輸送概見表

上陸點	部 隊	人 員	自 動 車
コタバル	第三十六飛行場大隊三分ノ一	一五〇	一四
シンゴラ	第九十一飛行場大隊(三分ノ一缺)	四〇〇	四一
コタバル	第九十二飛行場大隊(三分ノ一缺)	四二〇	五六
シンゴラ	飛行戦隊ニ屬スルモノ		一〇
	第十六航空情報隊	一八〇	三
	野戦氣象第一大隊本部	二〇〇	二〇
	集團第一航空通信隊ノ一部	一九〇	九
	第十七航測隊(第一航空情報隊ノ一部ヲ含ム)	三〇〇	一四

0787

備考

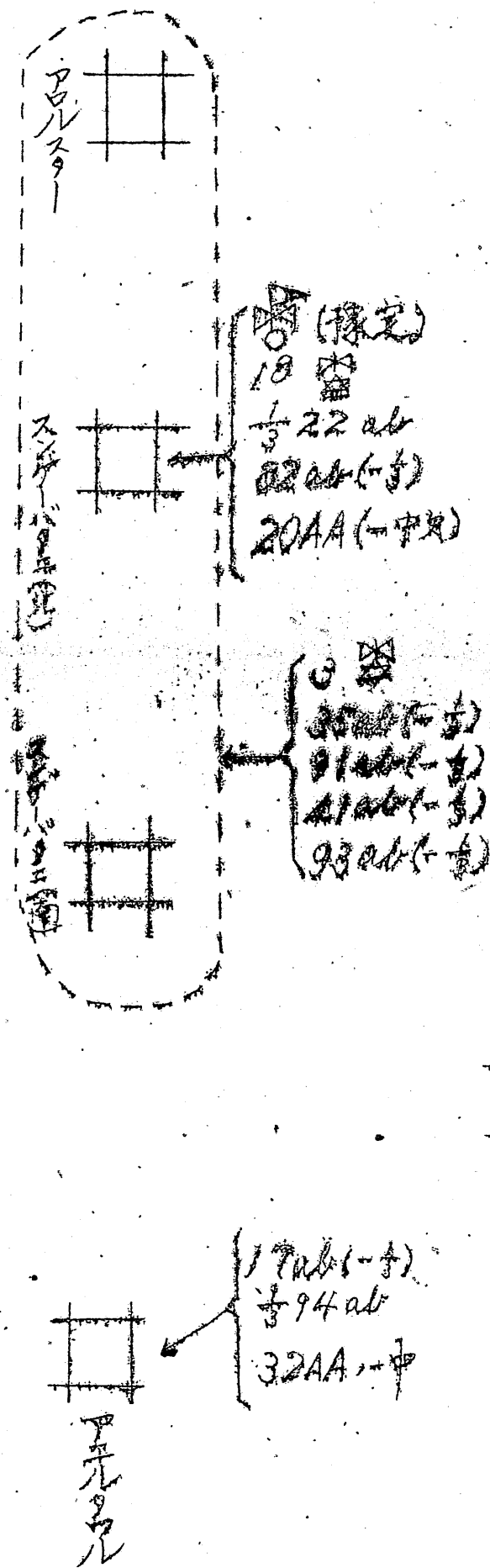
(1) 本表部隊ハ三飛集作命甲第七八號ニ據ルモノ及之ニ引續キ
輸送スル集團直轄部隊ヲ含ムモノトス

(2) 本表ノ外集團第一航空通信隊ノ無線四箇分隊、司令部通信
班ヲ「コンボントラツシュ」、「ゾオンド」及「ブナムペ
ン」ヨリ空中輸送スルモノトス

第十航空地区隊本部配置要圖

三飛集作命甲第九三號別紙第四

- 備考
- (1) 84abノ展開配置ハ25Aノ指定スル所ニ依ル
 - (2) ケナル、ペナンハ豫備飛行場ハス



第二十航空地区部隊配置要圖

三飛集作命甲第貳三號
別紙第五

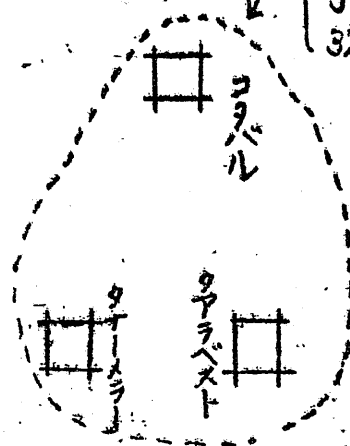
ナ
コ
シ
□ 31FR-部
□ 41ab-部

シン
ゴ
ラ
□ 21ab(-1/3)
□ 22AA(-2中)

集結部隊
21ab
西半
中半

22ab(-1/3)
□

23ab(-1/3)
22ab(-1/3)
24ab(-1/3)
5ab
32AA(-中)



備考

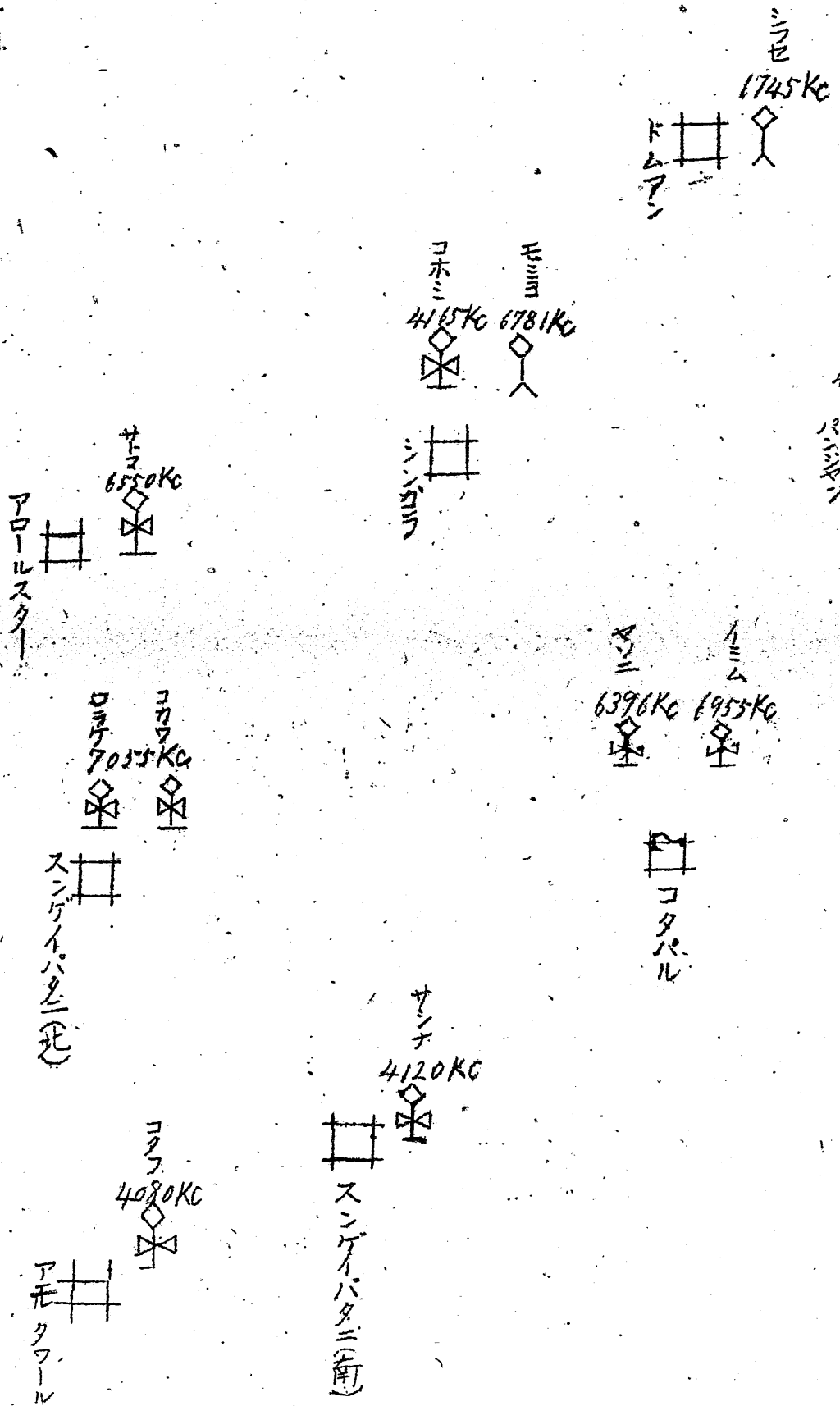
- (1) バリニヨ豫備飛行場トス
- (2) コッパル飛行場群ハ重爆飛行団
主力展開ヲ顧慮シ其ハ占領
整備ニ伴ヒ地区部隊配置ノ
細部ヲ別ニ指示ス

圖要開展隊測航團集

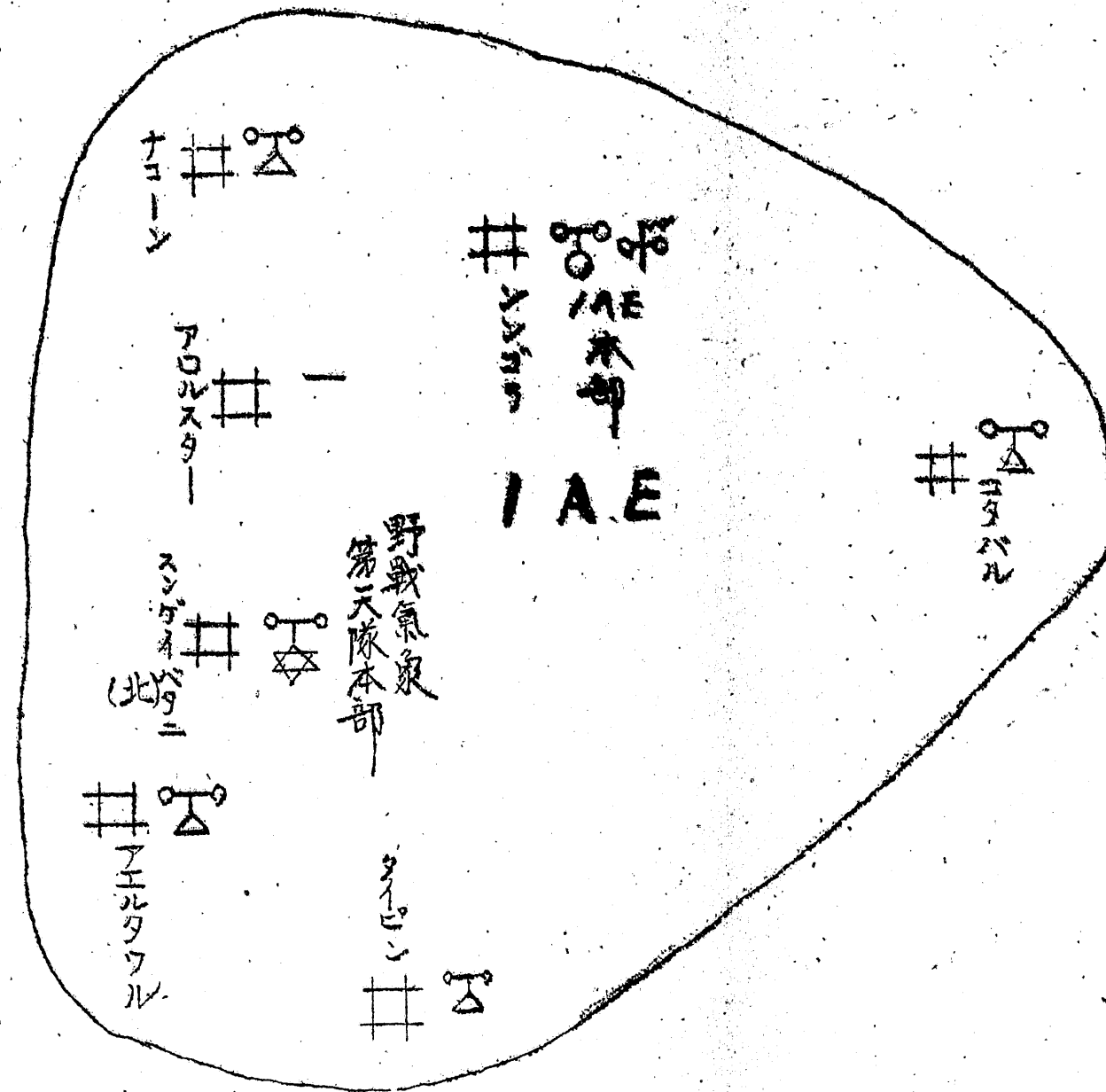
三飛集依命甲第九三號
別紙第七

備考

1. 今ハ航空路聯隊ヨリ展開セルモノヲ示ス
2. 本圖中指定電波ハ航測分隊ノ送信用ヲ示ス
3. 西貢及フナムベニ展開シアル航測分隊ハ別命スル迄現態勢ニ在ルモノトス



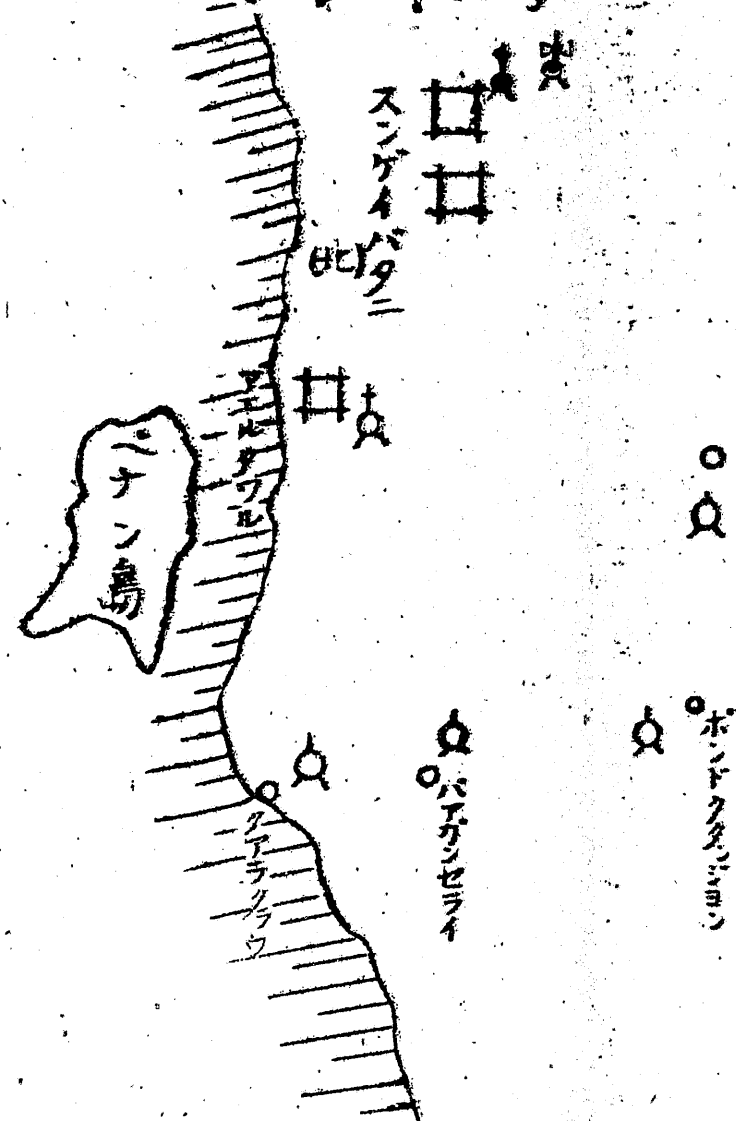
集團氣象隊馬來第一 次展開配置要圖



三龍集休命申第九三號別紙第八

第六十航空情報隊第一隊
馬來展開配置要圖

別紙第九



0793

敵空軍ノ
状況

戦以來ノ我が猛撃ニヨリ「コタバル」、「ケダール」兩地區ノ敵空軍ハ遠ク「シンガポール」方面ニ退避シ僅カニ「クワンタン」、「イポー」附近ニ止リテ「ゲリラ」的小奇襲ヲ試ミル程度トナリ馬來ノ空軍ハ完全ニ我方ニ歸セリ而シテ敵空軍ガ我方航空部隊ノ末ダ馬來半島ニ其ノ基地ヲ推進シ得サル最モ不利ナル當初ノ時期ニ乘ジ果敢ナル攻勢ニ出デザリシハ全ク過失ト稱スベシ

陸軍

0794

緒

一、戦以來我ガ一式戦闘隊ノ威力ハ完全ニ敵ヲ懾伏セシメ特ニ其ノ敢果ナル對地攻撃ハ其ノ進攻距離ノ長大ナルト相俟テ敵空軍ヲシテ消極的ナラシメタリ

二、馬來半島ニ機ヲ失セズ進出セル航空部隊ガ天候、飛行場ノ不利等有エル困難ヲ克服シテ果敢ナル作戰ヲ敢行シタルハ旺盛ナル攻撃精神ノ發露ニシテ敵ヲ精神的ニ壓倒セシ概アリ

三、第二十五軍ガ破竹ノ勢ヲ以テ「カダー」、「ゴタバル」地區ヲ席捲シ航空基地ヲ前方ニ推進シタルハ最モ機宜ニ適シタルモノニシテ自ラ主力ノ上陸ヲ完全ナラシムルノ結果トナレリ

第三節 第二十五軍ノ「ペラクル」、「セラランゴール」州

突進時期ニ於ケル地上作戦協力

「ケター」州ヲ一舉ニ突破セル第二十五軍主力ハ引續キ敵ヲ急迫シテ二十二日「ダイビン」ヲ占領シ二十三日其ノ先頭ヲ以テ「ペラクル」河ノ線ニ達シ概ネ二十五日迄ニ渡河ヲ準備シ二十六日近衛師團ヲ以テ「スンゲイシプト」附近、第五師團ヲ以テ「プランジヤ」附近ニ於テ渡河ヲ敢行シ隨所ニ敵ヲ破碎シツツ追撃シ二十八日「イボー」飛行場ヲ占領シ「イボー」、「タベ」、「トロラク」道ニ沿ヒ追撃シ途中「カンバル」、「スンカイ」、「ト」等ノ堅陣ヲ奪取シ放蕩ナル舟艇機動ト相俟ツテ昭和十七年一月七日早クモ「ペラクル」州ヲ突破シテ「セラランゴール」ニ突入シ更ニ敵ヲ急迫シテ十一日ニハ要衝「クワラランブール」ヲ占領セリ

佗美支隊ハ十七日「トレンガム」ヲ占領後一部ヲ以テ「クワラタ

敵空軍ノ
状況

第三飛行
集團ノ
状況

ライノ敵ト對戰シツツ主力ヲ以テ東海岸道ヲ南下シ三十一日要
衝「クワンタン」ヲ占領シテ其ノ飛行場ヲ確保シ一部ヲ以テ引續
キ海岸道ヲ南下セシムルト共ニ主力ハ「クワララムプール」ニ向
ヒ前進ス

既述ノ如ク開戰以來ノ航空擊滅戰ニ依リ英領馬來ニ於ケル敵空軍
ハ「シンガポール」地區ニ潜伏シ僅カニ「クワララムプール」
「クワンタン」等ヲ使用シ「ゲリラ」戰ヲ實施シアリテ其ノ兵力
戰闘機約六十機、攻撃機約二十機、飛行艇約十機ト判斷セラル
而シテ未ダ「スマトラ」方面ノ基地ヲ使用セル形跡ナク又蘭印、
濠洲及印度方面ヨリスル增強ヲ認メズ

一方緬甸方面ノ英空軍ハ逐次增強セラレ爲ニ泰及北部馬來ニ於ケ
ル我が背後連絡線ハ其ノ脅威ヲ受クルニ至ル
飛行集團ハ第三飛行團ヲ馬來半島ニ推進シテ第二十五軍ノ作戰ニ
直接協力シメ主力ハ十二月二十三日乃至二十五日、第七、第十飛
行團ヲ以テ蘭貢附近ヲ攻撃シ先ツ南部緬甸ノ敵空軍ヲ制壓シタル

東京小津納

陸軍

後十二月末馬來半島ニ躍進展開シ「シンガポール」地區ニ對スル
攻撃ヲ開始セリ

集團戰闘司令所ハ十二月二十二日「スンゲイバタニー」ニ前進ス

附記 蘭貢攻撃ニ關シテハ「ビルマ」作戰ノ部ニ於テ記述ス

第三飛行團ハ第二十五軍ノ「スンゲイバタニー」飛行場占領ニ伴
ヒ十九日ヨリ逐次同飛行場ニ躍進ス

飛行團長ハ十九日「スンゲイバタニー」南方十數軒ニ在ル第五師
團司令部ニ到リ爾後ノ戰闘ニ關シ協定スル所アリシガ同日及翌二
十日「タイピン」、「バカンセライ」停車場及進行中ノ列車ヲ攻
撃シテ同師團ノ戰闘ニ協力スルト共ニ數次ニ互リ「イボー」飛行
場ヲ攻撃シ敵機十四機ヲ擊墜破ス

又一部ヲ以テ「クアラライ」、「グアムサン」等ノ停車場ヲ攻
撃シテ佗美支隊ノ戰闘ニ協力ス又二十二日「クラン」附近ノ海上
ニ於テ敵船舶ヲ攻撃シ三千乃至六千噸級船舶三隻ヲ擊破ス

當時第二十五軍司令部ハ既ニ「アロートルスタリ」ニ前進シアリテ
軍司令官ハ二十二日「スンゲイバタニ」飛行場ニ第三飛行團長
ヲ誘レ「クアラカンサル」附近「ベラク」河橋梁ノ敵ニ依ル破壊
ヲ防遏スベキヲ要求ス

飛行團長ハ其ノ任務飛行隊ノ特性上極メテ困難ナルヲ知レルモ其
ノ成否ガ第二十五軍爾後ノ作戰ニ影響スル所大ナルヲ思ヒ且ハ第
二十五軍トノ精神的結合ヲ圖ル目的ヲ以テ之ガ要求ヲ快諾ス

附記

前記橋梁ノ破壊ハ軍ノ作戰ヲ約一箇月遅延セシムルト判
斷セラレタリ之ガ爲軍ハ上陸當初ヨリ挺進隊ヲ以テ舉
ニ該橋梁ヲ占領セシムル意圖ヲ有セリ

是ヨリ先集團長ハ第二十五軍司令官ノ前記企圖ヲ重視シ二十一日
夜ノ命令ヲ下達ス

三、飛集作命甲第一一四號

第三飛行集團命令

十二月二十一日一七三〇
「ブノムベン」

一、第二十五軍ハ明二十二日夕迄ニ「タイピシ」東側地區ニ進出シ明後二十三日戰事部隊ヲ以テ「クアラカンサル」ニ突入シテ敵ノ構築破壊前ニ於ケル占領ヲ企圖ス

二、集團ハ明後二十三日主力ヲ以テ第二十五軍ノ前頭企圖達成ニ協力セントス

三、第三飛行團長ハ明後二十三日其ノ全戦力ヲ「クアラカンサル」附近ニ統合指向シテ現任務ヲ續行スベシ

四、第七飛行團長ハ明後二十三日其ノ戰部隊ヲ以テ第二十五軍ノ作戰ニ直接協力スベシ

之ガ爲明二十二日夕迄ニ一時「アロールスター」ニ躍進セシメ協力實施ノ細部ニ關シテハ第三飛行團長ノ區域ヲ受ケシムベシ

五、第十二飛行團長ハ明後二十三日全力ヲ以テ第二十五軍ノ作戰ニ直

接協力メベシ

之ガ爲明二十二日夕迄ニ一時「アロールムスター」ニ躍進シ協力實施ノ細部ニ關シテハ第三飛行團長ト協議メベシ

ハ第十八航空地嵐司令官ハ成シ得ル限りノ兵力ヲ以テ第四、第五項部隊ノ戦闘ニ協力メベシ

第三飛行集團長 菅原 道大

下達法

電報後印刷交付

附記

一、第七飛行團戦闘隊（飛行第六十四戦隊）ハ既ニ蘭貢攻撃ヲ命ゼラレ準備中ナリシヲ變更シ本作戦ニ参加セシメラレタルモノナリ

二、當時地上軍ノ前記橋梁附近到着ハ二十五日頃ト判断セラレタルヲ以テ飛行集團ノ行動開始モ亦二十五日ヲ可トスル意見アリシモ橋梁破壊ハ敵ノ自由意志ニシテ從來ノ例ヲ見ルモ事前

ニ破壊セラルル公算大ナルヲ以テ二十三日ト決定セラレタル
モノナリ

斯クテ第三飛行團ハ飛行第六十四戰隊、第十二飛行團ト共ニ二十三
日天明時ニ出勤セルモ時既ニ遅ク橋梁ハ敵ニ依リ破壊セラレタリ
茲ニ於テ飛行團ハ其ノ下流約三十軒ニ在ル舟橋ノ確保ニ勉ムルト共
ニ第二十五軍ノ迅速ナル進出ヲ待チシモ意ノ如クナラズ遂ニ夜ニ入
リ同橋梁亦破壊セラレルニ至ル

第三飛行團長ハ尙モ同舟橋ヲ我方岸ニ引寄せ利用シ得ルノ希望ヲ抱
キ二十五日ニ至ル迄交代出勤シテ同地附近ノ敵ヲ爆撃シ之ガ確保ニ
任ジタルモ同日十四時頃ニ至リ地上部隊ハ同舟橋ノ利用ヲ断念シ二
十七日以降潰滅ニ依リ渡河スル旨ノ通報ニ接シ爾後ノ出勤ヲ中止セ
リ然レドモ二十數時間ニ且ル熾烈ナル我方爆撃ニ依リ敵ハ橋梁附近
ニ於ケル抵抗ヲ断念セルモノノ如ク第二十五軍ハ何等ノ抵抗ヲ受タ
ルコトナク「ベラグラ」河ヲ渡河ス

是ヨリ先飛行第六十四戰隊ハ十二月二十二日前に橋梁確保ノ戦闘ニ

第二十
五軍ノ
馬來海
岸ニ於
ケル舟
艇機動
ニ對ス
ル協力

參加スル爲「コタバル」ヨリ「アロール」スターニ離進スルニ際シ
義斷「クワラランブール」飛行場ヲ急襲シ敵戦艦機ト交戦十五機ヲ
撃墜ス我ガ方亦自爆一機ノ損害ヲ生ス
第三飛行團ハ列車ニ依リ退却スル敵ヲ猛攻シ又「バフリーガヂヤー」
「ゲマール」間ノ鐵道施設ヲ破壊シテ敵ノ退路ヲ遮斷スルト共ニ「メ
タン」
「クワラランブール」等ノ各飛行場ヲ攻撃シ或ハ「カンバ
ル」附近ニ於テ自動貨車十數輛「クラン」方面ニ於テ一千噸級船舶
一隻「ムルトン」方面ニ於テ六千噸級船舶一隻
一雙ヲ撃破炎トイル等密ニ第二十五軍ノ作戦ニ協力ス又三十日ニハ
「クワンタン」方面ニ於テ自動貨車三十輛ヲ翌三十一日ニハ列車二
自動貨車數輛ヲ爆碎シテ佗美支隊ノ戦闘ニ協力ス
第二十五軍ハ第五師團ノ有力ナル一部ヲ以テ十二月三十一日夜「ル
ムト」附近ヨリ舟艇機動ニ依リ先行上陸セシメ敵ノ退路ヲ遮斷セシ
ム
第三飛行團ハ之ニ協力シ一月一日主力ヲ以テ「マラツカ」海ノ敵艦
船ヲ攻撃シ二千乃至三千噸級二隻ヲ撃破炎ト、快速魚雷艇一隻ヲ撃

カンパル
一ペリム
附近ノ
戦艦ニ
對スル
協力

破シ同三隻ヲ撃破航行不能ニ陥ラシメ機動部隊ノ上空ヲ掩護ス
二日飛行團ハ飛行第二十七戦隊ヲ「イボール」ニ躍進セシメ「カンパ
ル」、「デコン」間ニ於テ自動車約五十輛ヲ攻撃シ其ノ大半ヲ炎
上セシムルト共ニ「マラツカ」海ニ於テ一千五百噸級貨物船一隻ヲ
撃破炎上スルノ戦果ヲ收メタリ
敵ハ「カンパル」附近ニ於テ第二十五軍主力ノ前進ヲ頑強ニ阻止シ
アリシガ第五師團ノ猛攻ト舟艇機動部隊ノ進出ト相俟テ二日夜退却
ヲ開始ス
第三飛行團ハ全力ヲ舉ゲテ軍ノ追撃ニ協力シ三日朝來敵敵ヲ攻撃ス
ルト共ニ「タンジョンマリム」附近ノ橋梁ヲ爆撃シ敵ノ退路遮斷ニ
勉ム
四日第三飛行團ハ主力ヲ以テ「イボール」ニ前進スルト共ニ依然重點
ヲ第五師團正面ニ指向シ「ペリム」附近ニ於テ自動車十數輛ヲ炎
上シト「マラツカ」沖ニ於テ三千噸級貨物船一隻ヲ破壊ス同日夕司
偵察ノ搜索ニ依リ「クルアン」飛行場ニ大型機十機アルヲ知ルヤ飛

「ダム
ビン
「クワ

行團長ハ同日夜飛行第七十五戦隊ヲ以テ同飛行場滑走地盤ヲ反撃爆
撃シテ敵機ノ逃走ヲ封ムルト共ニ五日天明ト共ニ飛行第五十九、第
九十戦隊ヲ以テ之ヲ攻撃完全ニ潰滅ス

飛行團ハ此ノ日更ニ十次ニ且リ退却中ノ敵ヲ攻撃シ自動貨車三十八
輛、裝甲車十一輛ヲ爆碎シ次デ七日「メリム」附近ノ敵砲兵ヲ攻撃
シテ之ヲ沈黙セシメト八日「タンジョン」メリム、「バタンベルジ
ユン」タイ「方面ノ敵ヲ攻撃シテ自動車六輛、戦車五輛、火炮十門ヲ
爆碎セリ

當時第三飛行團ハ主力（

59FR
27FR
15FR

）ヲ以テ「イボ」一、一部（

75FR
90FR

）ヲ以テ「スングエイ」バタニーニ在リシガ南飛行場間ノ通信連絡極メ
テ不良ニシテ敵活ナル指揮不可能ナリシヲ以テ八日以降晝間輕爆各
戦隊ノ三分ノ一ヲ「イボ」ニ招致シ戦機ニ投ヘル運用ヲ圖ルト共
ニ地上部隊ノ前進ニ伴ヒ九日飛行第七十五戦隊ヲ「タイビン」ニ編
進セシム

第二十五軍ハ近衛師團ノ一部國司支隊ヲ以テ海上機動ニ依リ九日「セ
ランゴール」方面ニ上陸シ敵ノ退路ヲ遮斷スルト共ニ第五師團ヲ以

東京小津防

0805

ワラムブー
九附海
野田二對
赤防力

第三飛行團ハ主力ヲ以テ第五師團ニ、一部ヲ以テ國司支隊ニ協力シ
自動貨車二十數輛、戰車七輛、火砲一門、列車一等ヲ燬碎ス

十日飛行團ハ依然主トシテ第五師團ニ協力シ敵ノ退路ヲ遮斷シ一タムピン、東側ニ於テ一列車ヲ顛覆セシメタル外自働車、裝甲車等二十數輛、火砲發門ヲ爆碎ス

敵ハ第二十五軍ノ果敢ナル追撃ト第三飛行團ノ爆撃トニ依リ十日總退却ニ移レルモノノ如ク其ノ一部ハ海上ヨリ逃避ヲ企圖ス

第三飛行團ハ主力ヲ以テ「ダムピン」以南ノ鐵道、停車場、列車等ヲ攻撃シテ敵ノ退路ヲ遮斷スルト共ニ一部ヲ以テ「マラツカ」海ノ敵艦艇ヲ攻撃シ一千乃至七千噸級貨物船四隻、潜水艦二隻ヲ大破炎上セシム

十一日 第二十五軍先頭部隊ハ「クワララムブル」ニ突入ス

各航空地嵐部隊ハ作戰ノ難移ニ應ジ逐次陣地展開シ密ニ空中部隊ノ
戰術ニ協力スルト共ニ地嵐業務ヲ遂行ス

海軍航空
部隊状況

「クワンタ
ン」上陸作
戦準備及
之中止ノ
経緯

第五
事状況

海軍航空部隊ハ十二月二十九日夜半ヨリ三十日未明ニ亘リ「セレー
ー」、「カラシ」飛行場ヲ攻撃シ、一月一日夜半^{三日}黎明「シンガポ
ー」、「テンガリ」、「センバワシ」各飛行場ヲ爆撃ス

南方軍ハ第十八師團ノ一部ヲ輸送船二隻ニ依リ「シンゴラ」ヨリ「ク
ワンタン」附近ニ上陸セシメ速カニ該飛行場ヲ占領シテ「シンガポ
ー」ル「地盤」ニ對スル航空基地ヲ推進セント企圖シ十二月二十六日之
ニ關シ南方軍總司令官、南遣艦隊司令長官及第三飛行集團長、第二
十二航空戦隊司令官間ニ協定成立シ著々之ヲ準備中ナリシガ十二月
三十一日「クワンタン」ハ佯突隊ノ急進ニ依リ占領セラレタル
ヲ以テ「クワンタン」上陸作戰ハ中止セラル

第四節

「シンガポール」地盤航空攻撃

戦役ニ第二十五軍ノ「ネグリセ
ンピラン」州突進時期ニ於ケル

地上作戰協力 附表

参照

「セランゴール」州ヲ突破セル第二十五軍ハ其ノ主力ヲ以テ「クワ
ラムブール」、「センバワン」、「ゲマム」道ヲ、一部ヲ以テ「ク

ランレー「マラツカ」ノ海岸進ヲ前進シ一月十五日「マラツカ」ヲ
十六日「ゲマム」ヲ攻略シ引續キ「ジョホールバル」ニ向ヒ敵ヲ急
追中ナリ

又東海岸ヲ前進中ノ木庭支隊ハ十六日「エンドウ」河地岸ニ達シ又
ルシン「附近ノ敵ニ對シ攻撃ヲ開始ス

「シンガポ
ール」地

況
敵艦隊

一月上旬ニ於ケル「シンガポール」地盤敵航空兵力ハ戦闘機（「ホ
ーカー」ハリケン、「パファロー」六十機、爆撃機（「ブレイハ
イム」主艦トス）二十機、飛行艇（「コンソリデーテッド」主
艦トス）十機ト判断セラレ十二月下旬以來主トシテ夜暗ヲ利用シ小
數機ヲ以テ我が飛行場ニ來襲シアリ

第三飛行
集團ノ狀
況

第三飛行集團ハ十二月末迄ニ主力ヲ擲圖第七ノ如ク馬來ニ躍進展開
シ第三飛行團ヲ以テ第二十五軍ノ戦闘ニ直接協力シツツ第七、第十
二飛行團ヲ以テ「シンガポール」地盤ニ對スル航空撃滅戰ヲ準備中
ナリ各航空地盤部隊又作戰ノ推移ニ應ジ逐次用部馬來ヘノ躍進ヲ率
備シツツ密ニ空中部隊ノ戦闘ニ協力中ナリ

小教団ヲ
以テメル
フシガボ
ール、夜
間奇襲

集團長ハ佯裝受隊ノ「クワンタン」占領ニ伴ヒ「クワンタン」(一)
急ニ一地區部隊ヲ同飛行場ニ推進シ之ヲ整備セシム

第三飛行團長ハ「フシガボール」地區ノ敵航空部隊ヲ集團ノ補給方
面ニ對スル進攻ノ虞ニ察ジ抬頭警戒ノ氣配アルヲ察知セルヲ以テ「フ
シガボール」地區飛行場群ヲ擾亂シテ敵ノ戦力特ニ其ノ戦闘意志ヲ
消磨セシメントシ十二月二十九日以來少數敵(概不二機)ヲ以テ夜
間奇襲ヲ開始セリ

第三飛行集團長ハ右夜間奇襲ヲ活潑ナラシムベク十二月三十一日「フ
シガボール」ニ於テ左ノ命令ヲ下達ス

三、飛集作命甲第一四五號

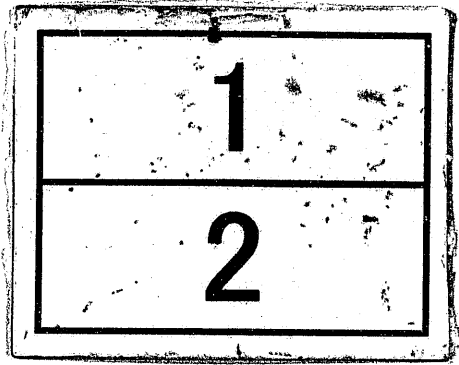
第三飛行集團命令 十二月二十一日一三〇〇
「フシガボール」

一、集團ハ一部ヲ以テ「フシガボール」附近敵空軍基地ヲ奇襲擾亂セン
トス

第二十二航空戦隊ハ一月四日起「フシガボール」ヲ夜襲ス
其ノ攻撃時刻ニ臨シテハ其ノ都度進撃ス

東京小澤館

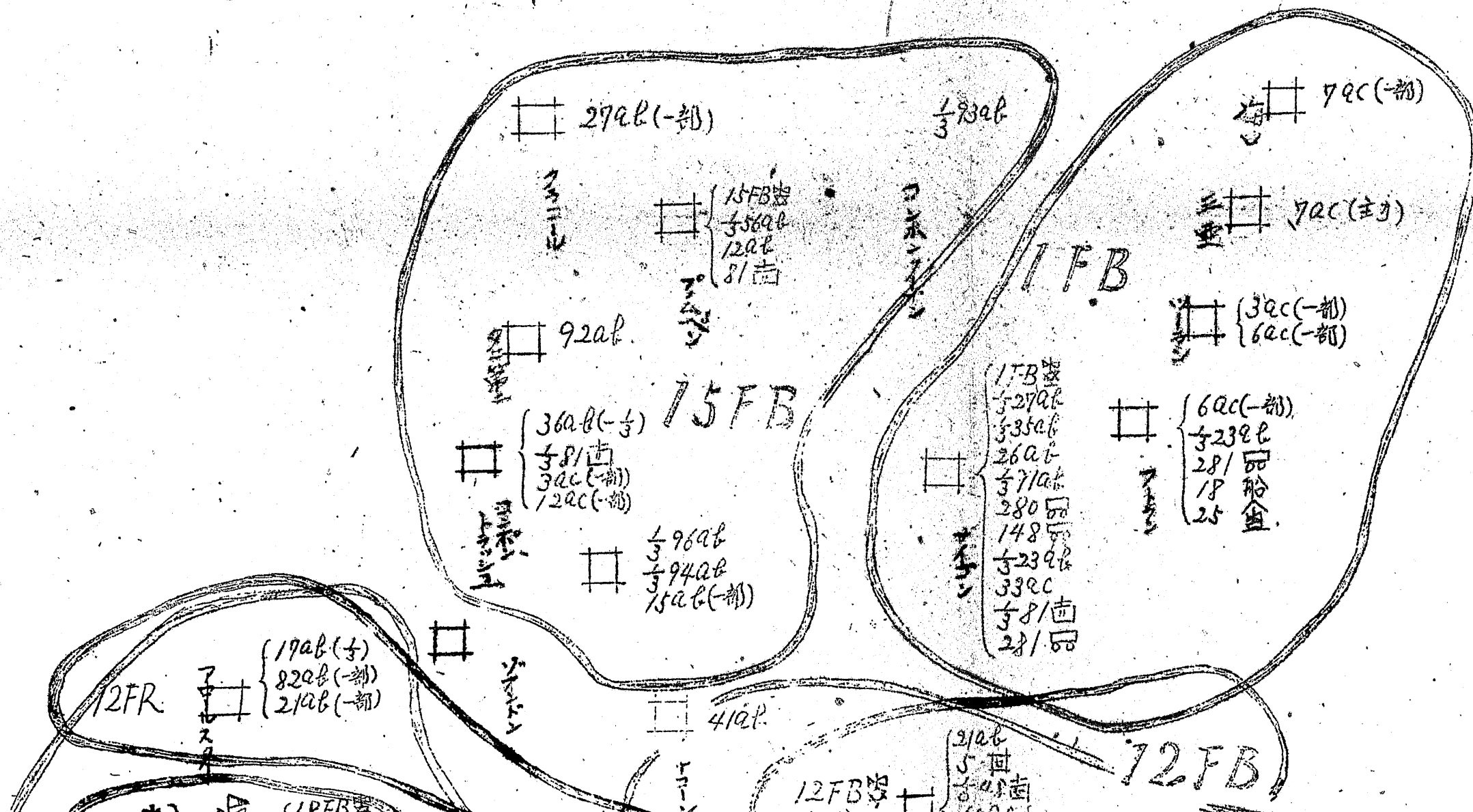
分割撮影ターゲット

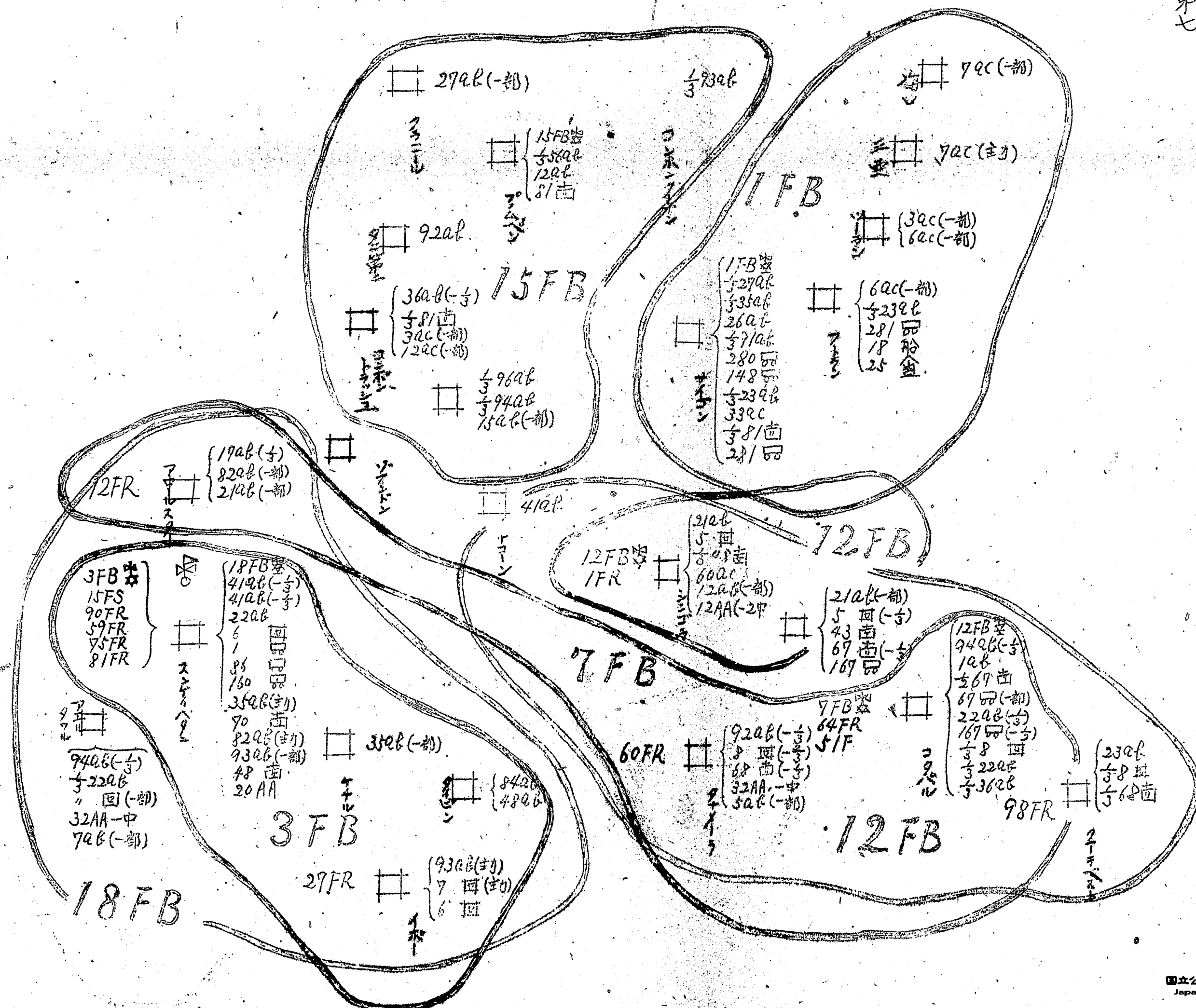
分割した 部分の 撮影順序	
分割撮影 した理由	A 3 版 以 上 の た め
文書等名	第3飛行集団態勢要図
上記のとおり分割撮影したことを証明する。	

0810
0811

第三飛行集團態勢要圖 二十三月十一日現在

挿圖第七





一 第三飛行團長ハ其ノ爆撃隊ノ少数機ヲ以テ機ヲ見テ「シンガポール」ノ敵飛行場ヲ夜間奇襲スベシ但シ其ノ攻撃時刻ハ奇襲時トス
 二 第七飛行團長ハ一月一日以降九日迄其ノ爆撃隊ノ少数機ヲ以テ「シンガポール」ノ飛行場ヲ夜間奇襲スベシ但シ其ノ攻撃時刻ハ偶襲時トス

四 「シンガポール」附近天候豫想ハ概ネ一四〇〇及二〇〇〇頃通報セシム

第三飛行集團長 菅原道大

下達法 電報及電話後印刷交付

右命令ニ基キ第三、第七飛行團ハ天候ノ許ス限り連夜攻撃ヲ續行シ大ナル成果ヲ収メタリ（附表参照）

附記

一 「シンガポール」夜間奇襲ノ要領ハ主トシテ輕爆ニヨリ「マラッカ」海峡上ヲ飛行シ直前ニ於テ滑空ニ移リ急降下攻撃スルヲ例トセリ此「マラッカ」海上ノ航法ハ地點ノ確定容易ナ

リント奇襲容易ナル事ナリ

一「シンガポール」地區飛行場竝ニ市街ニハ照空燈約七十基、
高射炮約二百門在リテ其ノ照射竝ニ射撃ヲ受ケ又少數機ノ敵
戦艦ノ攻撃ヲ受ケタルモ我ハ概ネ損害ヲ受クルコトナク歸
還セリ

第三飛行集團長ハ既述ノ如ク夫々一部ヲ以テ第二十五軍ノ地上作戰
協力竝ニ「シンガポール」地區夜間奇襲ヲ實施スル等ヲ銳意敵航空
戦力ノ撃滅ヲ準備中ナリシガ一月七日第七飛行團「コタバル」、
「ケター」地區飛行場群ニ集結シ「クワンタン」飛行場ノ整備ニ件
ト第十二飛行團（一月四日獨立飛行第四十七中隊（二式單戰）屬）同
飛行場ニ前進セシムルト共ニ八日左ノ命令ヲ下達ス

三飛集作命甲第一七四號

第三飛行集團命令 一月八日一〇〇〇
「インゲイバタニ」

一「シンガポール」地區ノ爆撃目標情報記錄第三十五號及第三十七
號、爆撃實施ノ爲ノ地區及名稱區分別紙要圖ノ如シ

「シンガポール」航空作戦ニ關スル陸海軍協定別冊ノ如シ

二集團ハ先ツ「シンガポール」地區ノ敵航空勢力ヲ擊滅セントス

攻撃第一日ヲ一月十一日ト豫定シ別命ス

「シンガポール」航空作戦要領別冊ノ如シ

三第七飛行團長ハ戰爆運合ノ有力ナル部隊ヲ以テ又第十二飛行團長

ハ全力ヲ以テ相互密ニ連繫シ「シンガポール」地區敵飛行場ヲ攻

撃シ先ツ速カニ敵戦闘隊ヲ索メテ之ヲ擊滅スベシ

攻撃實施ノ要領ハ別冊陸海軍協定ニ據リ定方リ第三擊迄ヲ實施ス

ベシ

協同攻撃ノ細部ニ關シテハ相互協定スベシ

作戰緊急通信ハ別紙ニ據ルベシ

四第三飛行團長ハ現任務ヲ續行スベシ

五飛行第八十一戰隊ハ十一、十二兩日〇七〇〇「シンガポール」地

區天候狀況ヲ偵察シ之ヲ無線放送スルト共ニ攻撃區前及直後ノ敵

航空狀況竝ニ敵機ノ退避狀況ヲ搜索スベシ

細部ニ關シテハ主任參謀ヲシテ連絡セシム

ハ第七、第十二飛行團長ハ協同攻撃ノ爲攻撃第一、第二日各其ノ基地ニ於ケル〇六三〇ノ天候ヲ集團長ニ通報スベシ

七第十二、第十八及「急」(「クワンタン」)航空地區司令官ハ各其ノ擔任飛行場ニ於ケル飛行部隊ノ爲地上勤務ヲ擔任スルト共ニ海軍航空部隊ノ補給及宿營、給養ニ關シ援助スベシ
ハ予ハ「メンゲイバタニ」ニ在リ

第三飛行集團長 菅 原 道 大

下 達 法

7FB 12FB ニ關係ヲ派遣シ印刷シタルモノヲ交付ス他ハ印刷交付

三飛製作命甲第一七四號別紙

「シンガポール」作戰緊急通信實施ノ爲電報類信ノ指定中「ボサ
ク」ヲ特定シ「サク」ヨリモ優先順位ノ取扱ヲ行フモノトス

1 使用期間 攻撃第一乃至第三日ノ間

2 發信 權 集團參謀長、飛行團長、飛行戰隊長、獨立飛行隊長

0815

獨立飛行中隊長

3 「ボサクレ」ヲ使用スル電報ノ種類ハ左記内容ノモノニ限定ス

イ、攻撃發進又ハ取止メ

ロ、緊急ハ候通報

ハ、敵情

ニ、攻撃戦果

一飛行第八十一戦隊ノ天候偵察結果ハ左記通信諸元ヲ以テ集團長ニ

報告スルモノトシ各部隊ハ〇六三〇一〇八〇〇ノ間之ヲ傍受ス

周波数 七六〇四「キロサイクル」

呼名 飛行機 チキタ

集團對空通信班 ノマエ

三各部隊ハ左記ニ依リ地上通信系ヲ開放シ緊急通信ノ必達ヲ期スル

モノトス

1 攻撃第一日第一軍實施ノ爲

〇六三〇一〇八三〇ノ間

2 攻撃第一日第二撃實施ノ爲

一二〇〇一三三〇ノ間

3 攻撃第二日第三撃實施ノ爲

〇六三〇一〇九〇〇ノ間

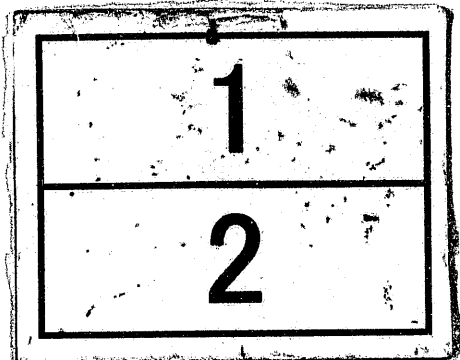
四 第一撃見合セ又ハ第一撃發進ノ爲左ノ緊急略號ヲ進告シ受信者ハ復唱スルモノトス

「〇〇〇」第一撃實施ノ爲豫定ノ期ヲ出發

「〇〇〇」第一撃見合セ又ハ取止メ

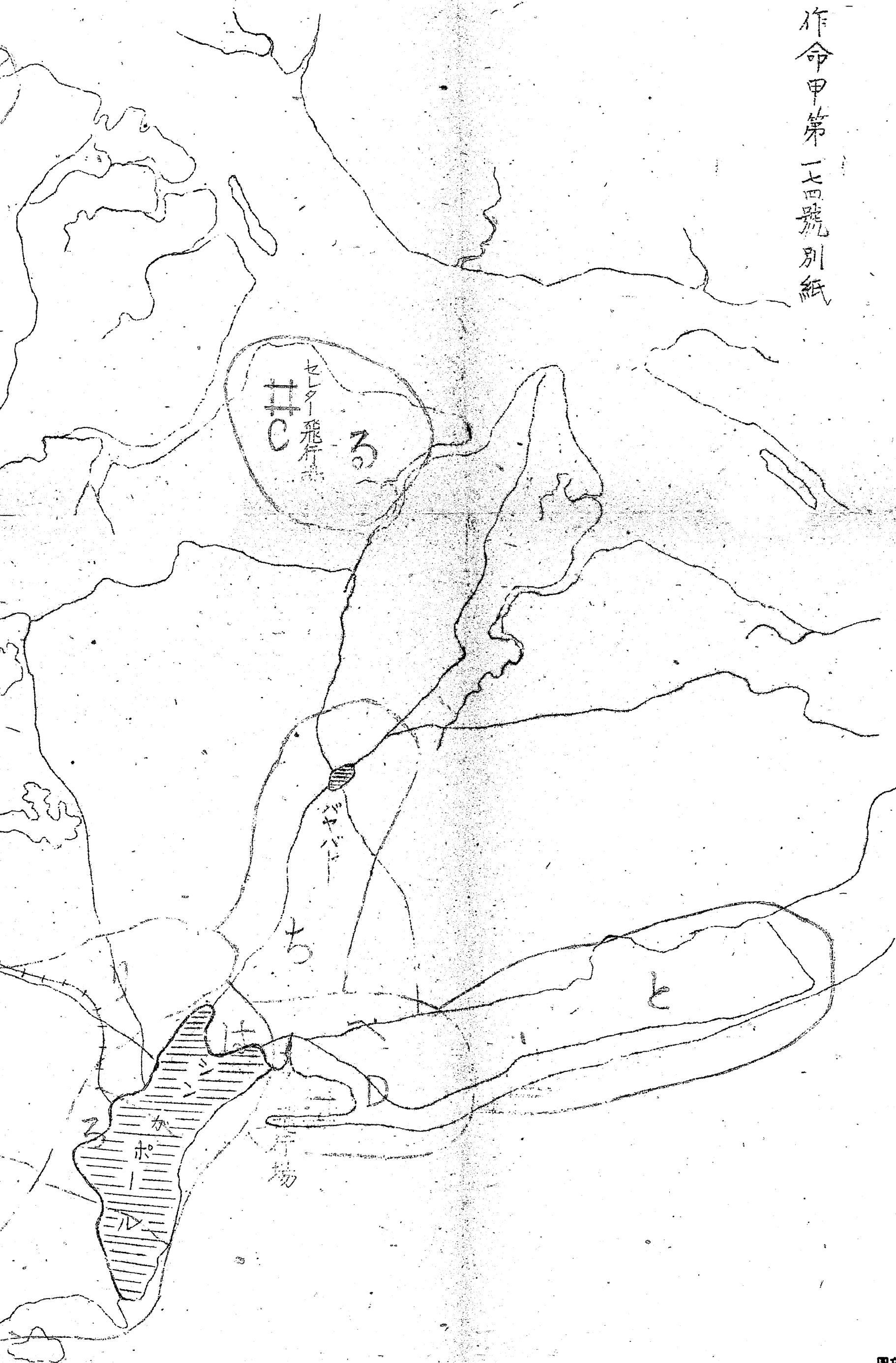
(略數字ニ依リ暗號化スルコトナク送信ス)

分割撮影ターゲット

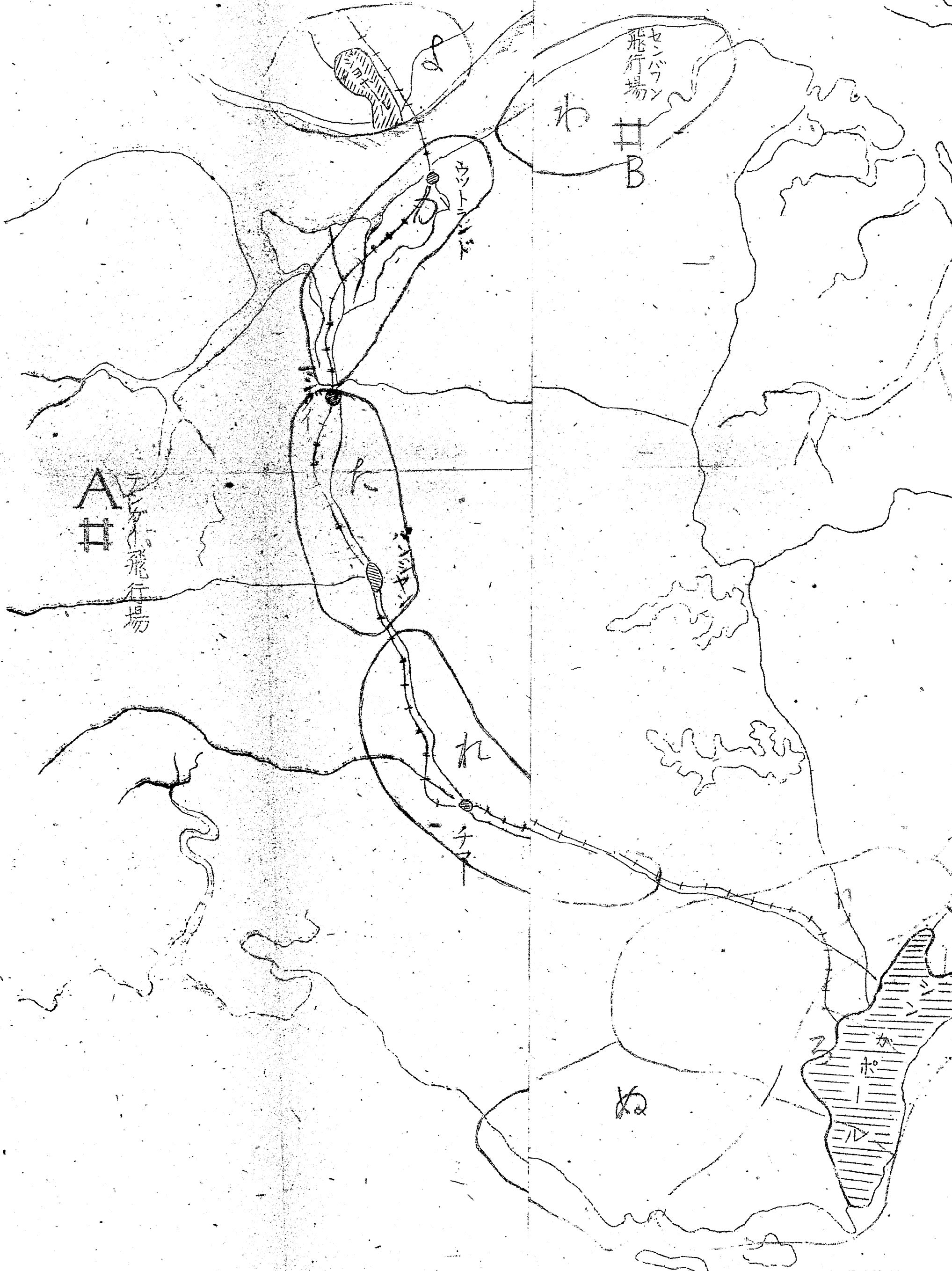
分割した 部分の 撮影順序	
分割撮影 した理由	A 3 版 以 上 の た め
文書等名	爆撃実施の為の地区 及名称区分
上記のとおり分割撮影したことを証明する。	

三飛集作命甲第一七四號別紙

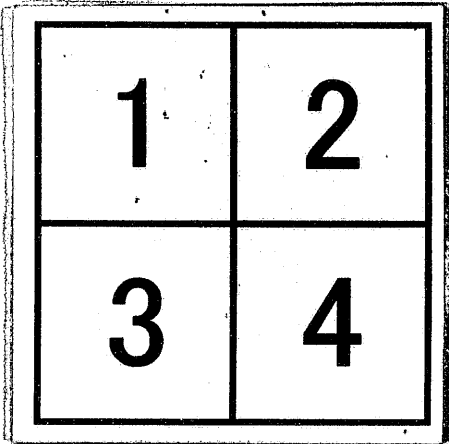
名及區地、爲、施實擊爆



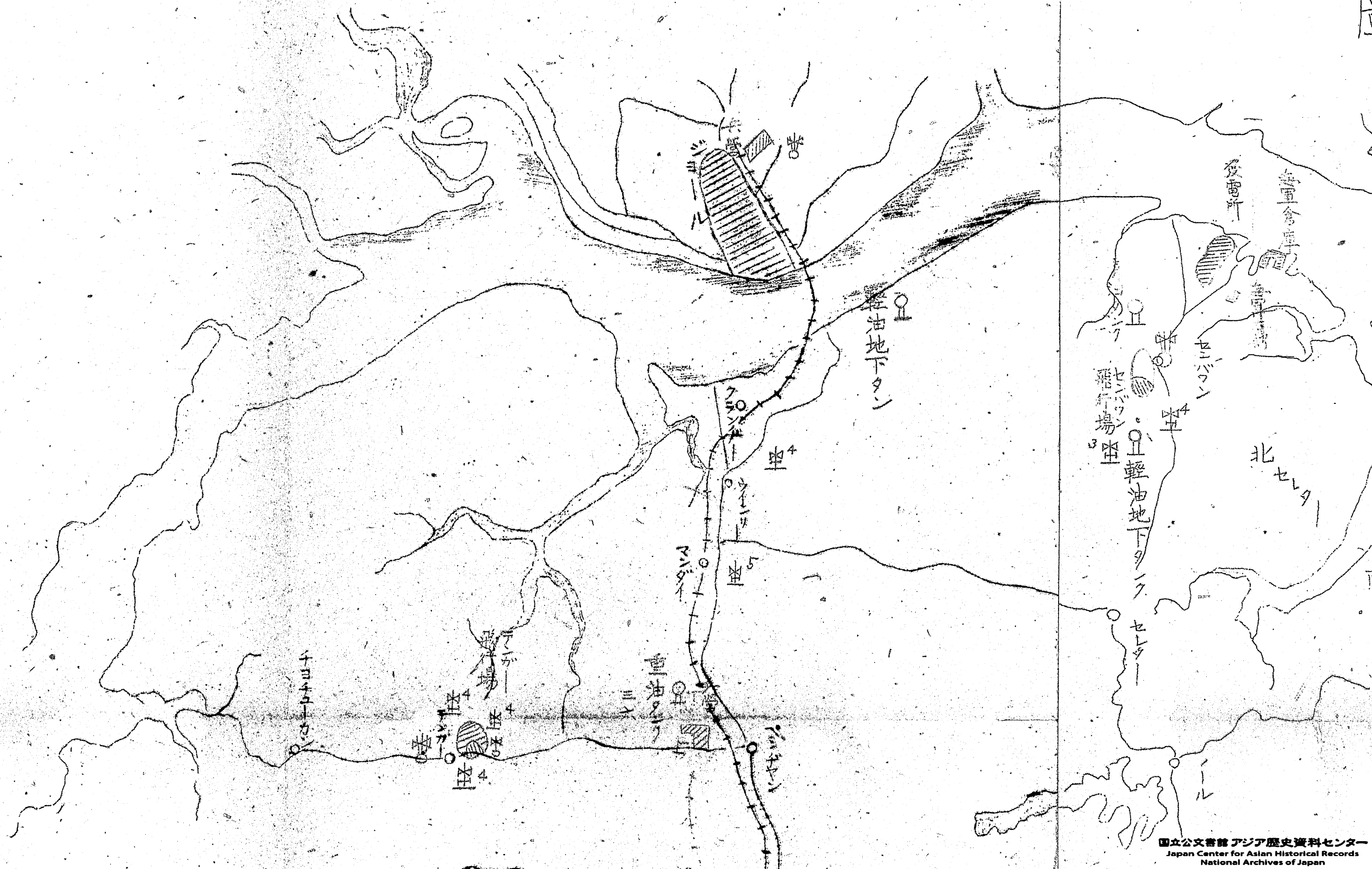
分區稱名及區地



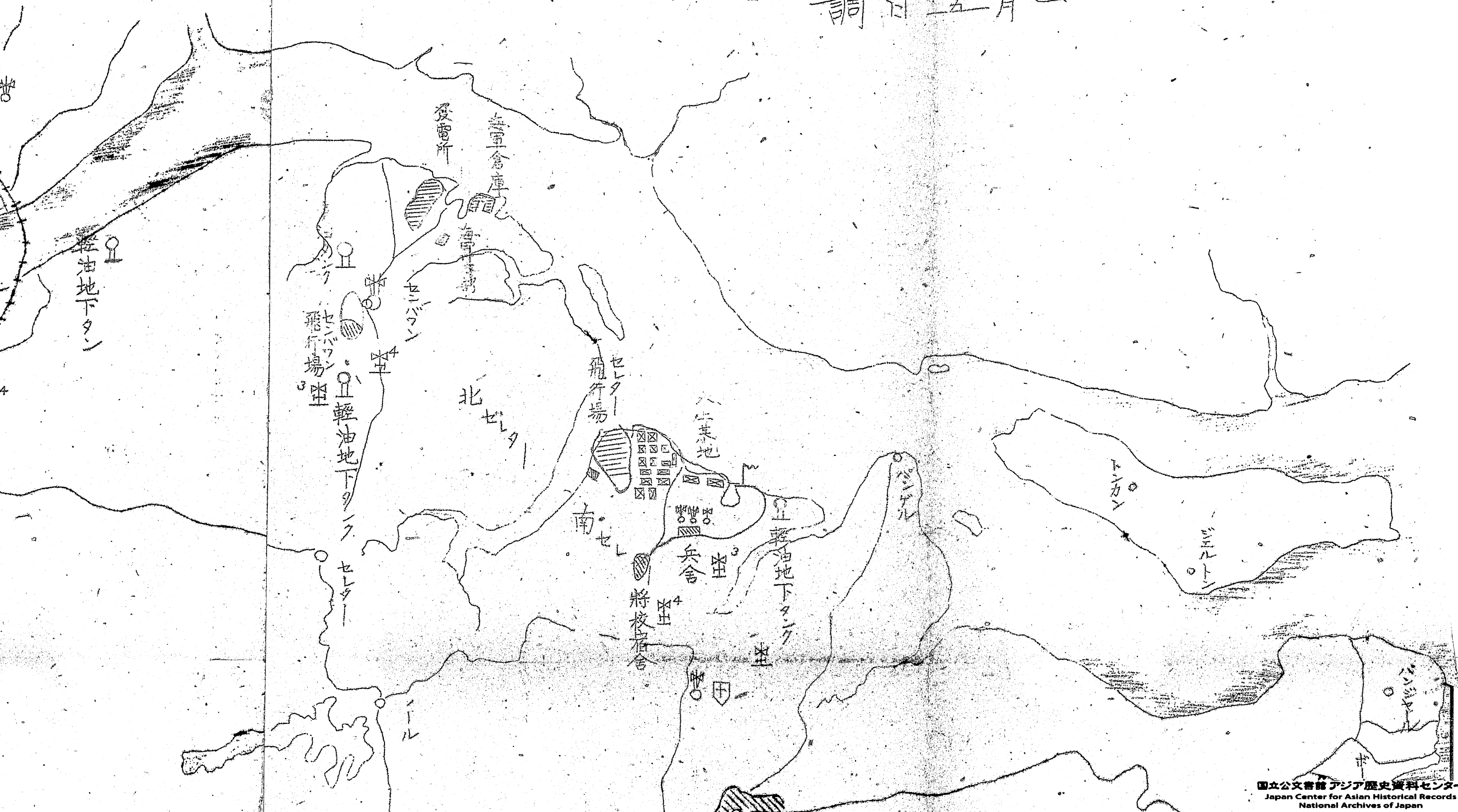
分割撮影ターゲット

分割した 部分の 撮影順序	
分割撮影 した理由	A 3 版 以 上 の た め
文書等名	空中写真判読に基づく 新嘉坡爆撃目標要図
上記のとおり分割撮影したことを証明する。	

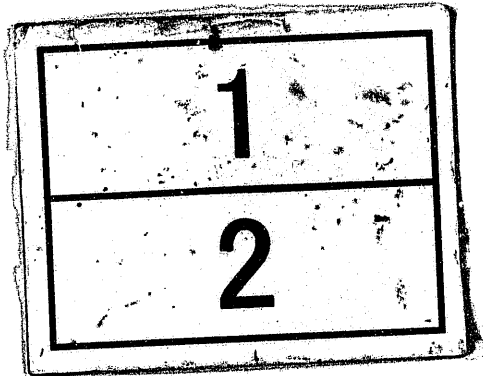
0820
0821
0822
0823



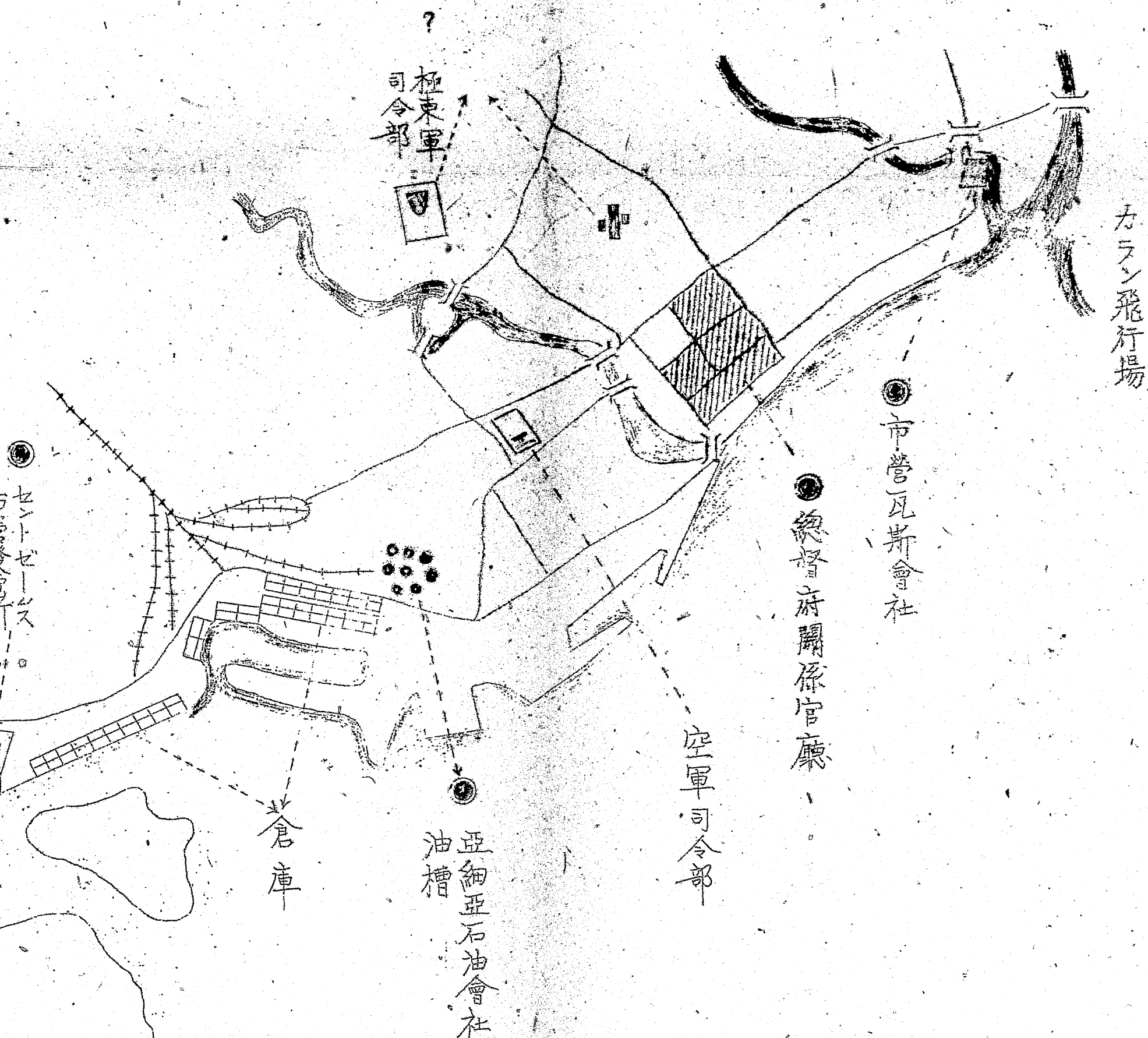
空中寫真判讀基準
新嘉坡爆炸目標要圖
一月五日調



分割撮影ターゲット

分割した 部分の 撮影順序	
分割撮影 した理由	A 3 版 以 上 の た め
文書等名	新嘉坡市街重要目標要図
上記のとおり分割撮影したことを証明する。	

新嘉坡市重要目標要圖 附圖



重慶要目標要圖

極東軍司令部

空軍司令部

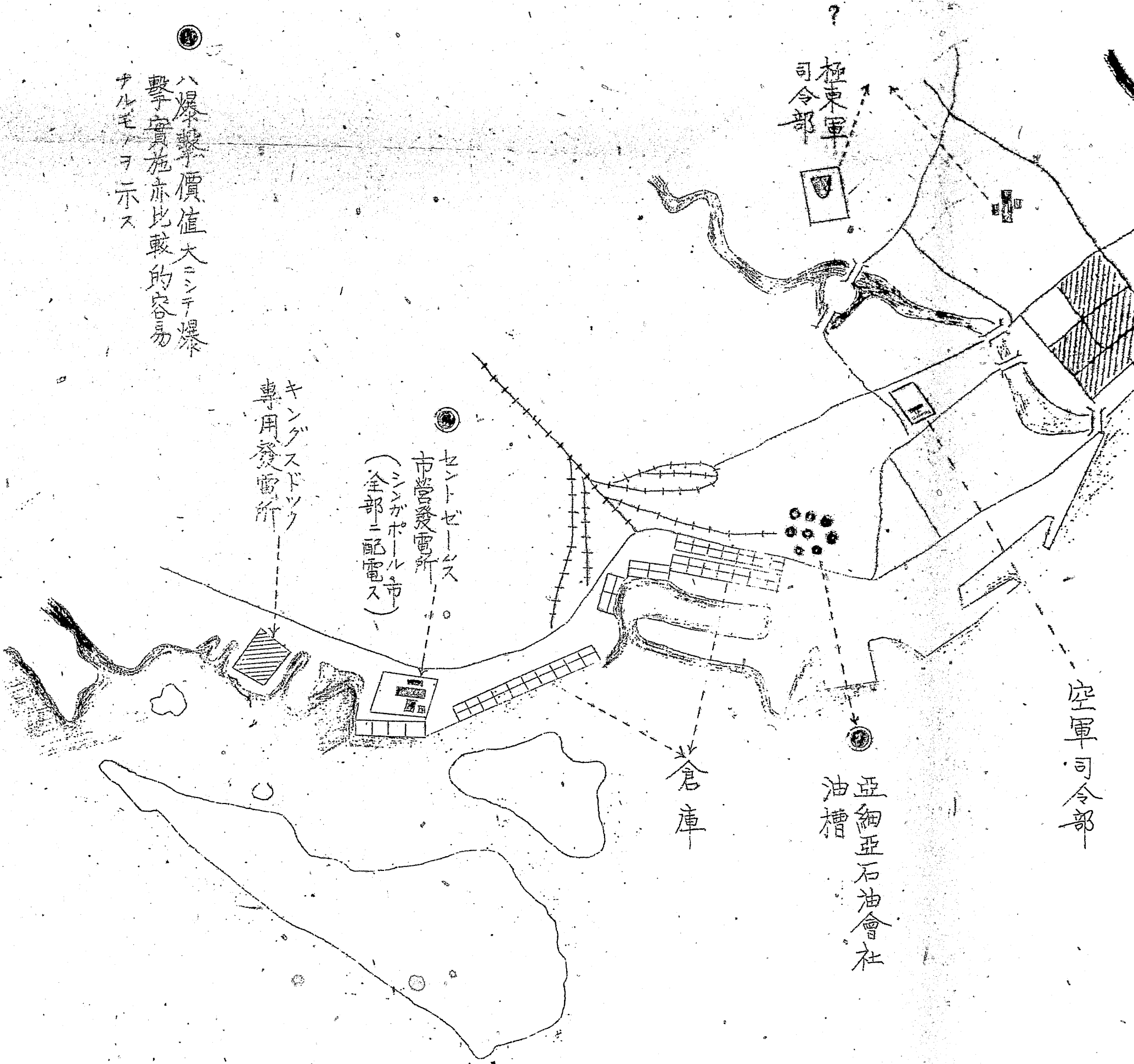
亞細亞石油會社
油槽

倉庫

セントゼーガス
市營發電所
(シンガポール市)
(全部ニ配電ス)

キングスドック
專用發電所

ハ爆撃價値大ニシテ爆撃實施亦比較的容易ナルモノヲ示ス



陸軍

參謀部、内務 綴

昭和十七年一月七日

第三飛行集 團
第二十二航空隊

團「第一」(「第一」)作戰協定覺書

第三飛行集 團長 陸軍中將 菅原道大
第二十二航空隊隊司令官 海軍少將 松永貞市

0826

東京小津納

0827

陸
軍

本覺書ハ南方軍、南洋艦隊司令部ニ基テ作戰初
頭ノ細部事項及補給ノ政令ニ關スル大綱トス

0828

東京小津納

0829

陸軍

第一 使用兵力

第三飛行團（約十五機）

一式戦 二中隊

第七飛行團（五十―八十機）

偵 一中隊

一式戦 三中隊

重 爆
上記兵力の内
初段三乃至六中隊

第十二飛行團（七十―八十機）

47708

一〇一四四 一中隊

1772

九七戦 三中隊

11722

九七戦 三中隊

飛行第八十一戦隊司令部二中队（十一―二十機）

海軍

第二十二航空戦隊

中 政 二隊 五十四機

（状況に依り中政ノ代用トシテ一式）
陸政ヲ使用スルコトアリ

零式艦戦 一隊 二十機

陸 偵 五機